

地域展開を進める持続可能な学校部活動

令和8年3月
教育委員会事務局指導室

国の方針

改革実行期間内に、原則、全ての学校部活動において地域展開の実現を目指す。(令和7年12月文部科学省ガイドラインより)

本区の方針

平日と休日の活動の円滑な接続のため、学校部活動を維持しつつ、質の高い指導者を地域等から調整し、生徒が継続してスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保する。

ロードマップ (スケジュール)

R5~R7 改革推進期間

学校部活動を維持しつつ、地域クラブ活動の創設や部活動外部指導員による指導を位置付ける。

R8~R10 改革実行期間 (前期)

部活動外部指導員の効果的な人材確保のための取組を推進し、休日を優先して学校部活動に地域人材を配置し、教員の負担軽減を図る。

R11~R13 改革実行期間 (後期)

全ての中学校の休日の学校部活動において、地域クラブ活動や部活動外部指導員の配置による地域展開等の実現を完了する。

取組の紹介

地域クラブ活動 (連携団体)

- ・剣道部
(区剣道連盟)
- ・フットサル部
(フーガドールすみだ)
- ・英語部
(レイクランド大学)

総合型地域スポーツクラブとの連携

- ・スポーツドア
あずま
 - ・両国倶楽部
- ※委託による指導者の派遣

部活動外部指導員 (外部コーチ/外部サポーター)

- ・教員不在での単独指導/引率が可能な外部コーチ
 - ・教員の監督下で技術指導を行う外部サポーター
- ※外部コーチの拡充を推進中

取組の推進に向けた課題・対策

- ① 部活動外部指導員の人材確保
⇒墨田区教育委員会事務局を窓口として人材バンクの創設
- ② 質の高い指導、安心・安全な部活動の運営のために必要な部活動外部指導員の専門性の向上
⇒定期的な研修の機会の確保

